

## 議会運営委員会

所掌事項：議会運営、議会改革等

### 5月の議会人事改選でメンバー構成を新たにスタートした議会運営委員会 池田委員長に今期の抱負を語っていただきました

ピンチをチャンスにさらなる議会改革へ

未だ収束が見えない新型コロナウイルスは、市民傍聴席を活用しての議員席空間の確保、日程の変更や優先順位を考えての議事進行など、議会運営にも多大な影響を及ぼしました。しかし、昨年2月に「多摩市議会災害対策連絡会」を立ち上げ、行政と情報の共有や市民のための支援策を共に考え、随時協議を重ね取組んできたこと、その後災害対策連絡会を常設としたことは、議会の危機管理上大きな前進となりました。

オンライン活用で「議会ICT化」の推進

また、コロナ禍対応の一環として昨年立ち上げた「オンライン会議プロジェクトチーム」では、緊急時に備えた会議の検討を開始し、多摩市議会初のオンライン（動画）議会報告会も行うことができました。今後は、公式な会議での活用検討、市民との意見交換会やアンケートの検討など、オンラインのさらなる活用で、議会の円滑化を図り、先進市に学びながら調査研究を進めていきます。

障がい者の差別解消は議会から！

障がい者への情報保障の取組の一環として、令和2年第4回定例会からYouTubeに字幕が表示されるようになり、また本年よ



前列左から、池田委員長、遠藤副委員長  
後列左から、大くま委員、渡辺委員、岸田委員、大野委員、山崎委員

り定例会初日に手話通訳が設置されました。"障がい者の差別の解消は多摩市議会から"との思いで、さらに障がい者の方々に配慮した議会だよりやホームページの作成・改善にも取組んでまいります。

これからも、具体的な政策や施策を積極的に提案できるよう努め、市民にとって今何が大切なのかを第一に考え、多摩市議会基本条例に基づき、「市民のみなさんにもっとよく見え、わかりやすく、市民が参画できる議会」をめざしてまいります。

## 議会による決算審査がスタート!

### 遠藤予算決算特別委員長に決算審査について聞きました

多摩市の決算審査の進め方と特徴

多摩市議会では毎年9月に前年度の決算審査を行います。皆さんからお預かりした税金の使い道が適切であったか。そこに無駄はなかったかどうかなど、議長を除く市議会議員25名で構成する特別な委員会を作って集中的に調査を行うのです。これを予算決算特別委員会といいます。

予算決算特別委員会では、総務・健康福祉・生活環境・子ども教育の4常任委員会を単位とする4分科会を設け、詳細に評価する対象事業を選定して、事業への意見や課題などを「議会の評価」の形にまとめて市へ送付し、これを受けて市は対象事業の増額・減額などを翌年(令和4年度)の予算に反映させることになっています。

市議会が決算を評価し、その評価結果が次年度予算に反映されるこのサイクルを「決算と予算の連動」といい、多摩市議会最大の特徴になっているのです。

やや手前味噌ですが、多摩市議会は早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革ランキングにおいて、2年連続全国トップ10をキープしており、東京都内では第2位です。この決算と予算の連動の仕組みを勉強しようと、コロナ禍前は毎月のように全国から視察団が訪れていたんですよ。

令和2年度決算審査

今年の決算審査では学校までも閉鎖された令和2年度を振り返り、レストランや居酒屋など休業を要請された市内事業者支援のための財政出動が適切であったか？ステイホームする子どもたちにオンライン授業を行ったが、不慣れな子どもたちへのサポートは十分であったか？などコロナ禍における多摩市の一連の動きなどを検証します。

決算審査で大事なものは成果指標です。あらかじめ設定した指標を達成できたのか、数値をベースに判定します。例えば100万円の税金を投じて公園を改修したとします。きれいになった公園によりお客さんが集まるようになり、周辺の飲食店やカフェなどに100万円以上の経済効果が出ていれば、費用対効果という側面で事業は適切に運営されていることとなります。

今年度の4分科会の評価内容は2～5面をご覧ください!

6月に立ち上げた4分科会は、7～8月にかけて所管課からのヒアリングや現地調査を重ねて、9月の決算審査に臨みます。渡辺しんじ副委員長とともにしっかりと決算審査を行いますので、多摩市議会のYouTube中継でぜひお確かめください。

予算決算特別委員会理事会は、予算決算特別委員会の運営等を行います。

今期の予算決算特別委員会理事会は、遠藤委員長、渡辺副委員長、理事の大くま議員、岸田議員、大野議員の5名で構成しています。